

評価項目及び評価基準（案）

I. 耐震技術提案 「安全性の高い耐震性能の確保についての提案」
技術資料の記入方法と評価基準

青字：公開 黒字：非公開

分類	評価項目	具体的評価項目	様式	記入方法及び提案の要点	添付資料	評価基準	配点
	安全性の高い耐震性能の確保についての提案	1 地震時の安全性確保、地震後の業務継続に関する提案	2号-1	指定の様式(A3片面) 1枚とします。 (1)について、技術的所見を記入してください。 (2)について、提案内容を記載して下さい。図示も可とします。 (2)ア、イ、ウについては、次の条件で計算した結果に基づき、設計段階で採用する設計目標値に該当する欄に○印を記入して下さい。 【条件】 計算過程(各層質量、各層剛性、周期、採用する構造形式、応答解析結果グラフ)を添付資料1に記載してください。また、サイト波作成に関する事項は、下記3(3)に記載してください。 ○提案する構造計画については、適切な解析モデルを用いて時刻歴応答解析を行うこと。 ○検討地震波は、観測波3波(50cm/sに基準化したもの)、告示波3波(告示1461号に基づくもの)、サイト波2波において、建設地の地盤状況を考慮した地表面での地震動を採用し、レベル2地震動に対する検討を行う。サイト波2波については、地盤の増幅等を考慮し適切な手法で作成すること。超高層建築物に影響を与える長周期成分を考慮し、市が提供する工学的基盤での予測波形に、差分法による長周期地震動の予測波形をハイブリッド合成すること。 ○工学的基盤から表層までの地盤構造、PS検層結果、土の粒度試験結果は、【別紙17 地盤調査報告書抜粋】を参照のこと。	・添付資料1 ① 建築概要 ② 図面等 ③ 時刻歴応答解析概要および結果グラフ	(1) Ⅲ： 非常に優れた内容の構造計画である。 4点 Ⅱ： 標準的な構造計画よりも優れた計画である。 2点 Ⅰ： 標準的な構造計画である。 0点 有意な検討項目 ① 地震や津波により、災害対応に必要な設備を停止させない対策がある。 ② 地震発生直後における備品類の転倒防止など、初動対応の支障を確実に抑制する対策がある。 ③ 地震発生時の人的危害(閉所への閉込等)を確実に防止する対策がある。 ④ 地震発生時の人的危害(可動部分での挟まれ等)を確実に防止する対策がある。 ⑤ 地震発生時の人的危害(ガラスや非構造部材の損傷・落下等)を確実に防止する対策がある。 ⑥ 地震発生時に停止した昇降機を早期に復旧させる、または安全性確保の上で停止させないための対策がある。 ⑦ 地震発生直後に、全館の安全性モニタリング情報を中央管理室等で一括して確認でき、遅延なく避難要否が判断できる。 ⑧ 地震発生直後に、在館者を混乱なく避難誘導でき、かつ平常時のデッドスペース等を可能な限り抑制した合理的な計画である。 ⑨ 建築物全体として、地震発生後数日間の災害対応業務以降の通常業務に支障となる機能損失がない、または軽易な修復作業で機能を回復できる。 ⑩ その他、重視すべき提案がある。 (2) Ⅴ： 非常に優れた内容の構造計画である。 5点 Ⅳ： 優れた内容の構造計画である。 4点 Ⅲ： 標準的な構造計画よりも優れた計画である。 3点 Ⅱ： 標準的な構造計画よりも若干優れた計画である。 2点 Ⅰ： 標準的な構造計画である。 1点 *： 要求水準レベル 0点	4点
		ア 各階における構造耐力上主要な部材の塑性化の程度 イ 執務室階の床面応答加速度的最大値(gal) ウ 地上部各階の最大層間変形角の最大値(rad)	○提案する構造計画については、適切な解析モデルを用いて時刻歴応答解析を行うこと。 ○検討地震波は、観測波3波(50cm/sに基準化したもの)、告示波3波(告示1461号に基づくもの)、サイト波2波において、建設地の地盤状況を考慮した地表面での地震動を採用し、レベル2地震動に対する検討を行う。サイト波2波については、地盤の増幅等を考慮し適切な手法で作成すること。超高層建築物に影響を与える長周期成分を考慮し、市が提供する工学的基盤での予測波形に、差分法による長周期地震動の予測波形をハイブリッド合成すること。 ○工学的基盤から表層までの地盤構造、PS検層結果、土の粒度試験結果は、【別紙17 地盤調査報告書抜粋】を参照のこと。	表1 解析結果の層間変形角が1/200以上~1/100未満の範囲において、層の塑性率が1.0以上の場合(点)	5点		

		層間変形角[rad]				
		1/250未満	1/250以上 ~200未満	1/200以上 ~150未満	1/150以上 ~125未満	1/125以上 ~100未満
加速度[gal]	300未満	5	4	3	2	1
	300以上~ 350未満	4	4	3	2	1
	350以上~ 400未満	3	3	2	1	1
	400以上~ 450未満	2	2	1	1	0
	450以上~ 500未満	1	1	1	0	0

		層間変形角[rad]				
		1/250未満	1/250以上 ~200未満	1/200以上 ~150未満	1/150以上 ~125未満	1/125以上 ~100未満
加速度[gal]	300未満	5	4	4	3	2
	300以上~ 350未満	4	4	4	3	2
	350以上~ 400未満	3	3	3	2	1
	400以上~ 450未満	2	2	2	1	1
	450以上~ 500未満	1	1	1	1	0

※ただし、解析過程等に明らかな疑義がある提案について、ヒアリング時に提案内容の妥当性を確認できない場合は、応答値によらず0点とする。

分類	評価項目	具体的評価項目	様式	記入方法及び提案の要点	添付資料	評価基準	配点
	安全性の高い耐震性能の確保についての提案	2 ライフサイクルを通して、建築物の性能を最適に管理するための構造計画等に関する提案	2号 -2	左記具体的評価項目に示す内容について技術的所見を記入してください。 指定の様式（A3片面）1枚とします。	・添付資料1 建築概要、図面等	<p>Ⅲ： 非常に優れた内容の構造計画である。 3点</p> <p>Ⅱ： 標準的な構造計画よりも優れた計画である。 1点</p> <p>Ⅰ： 標準的な構造計画である。 0点</p>	3点
		<p>有意な検討項目</p> <p>【共通】</p> <p>① 地震エネルギー吸収部材・デバイス等について、本体や部品類の取り換え要否を判断でき、あらかじめ取り換えを容易にするための検討がされている。</p> <p>② 十分な余力を見込むなど、地震エネルギー吸収部材・デバイス等の取り換えを必要としない計画となっている。</p> <p>③ 長期にわたる点検、修繕等の計画があらかじめ想定され、維持管理コストに優れた計画となっている。</p> <p>④ 構造体の耐久性能について、要求水準を超えるレベルかつ建築物全体を長寿命化する提案がある。</p> <p>⑤ 可能性のある減築、用途変更等を想定するなど、要求水準を超えたフレキシビリティを確保している。</p> <p>⑥ 解体等まで想定した全体的なライフサイクルコストを最適化する視点の提案がある。</p> <p>⑦ その他、重視すべき提案がある。</p> <p>【履歴系】</p> <p>⑧ 地震エネルギー吸収部材の取り換えが必要ない計画となっている。</p> <p>【粘性系】</p> <p>⑨ 強風時の変位振幅抑制と大地震時のエネルギー吸収の双方に対応可能な可変機構等を装えたデバイスが提案されている。</p>					
		3 建設予定地の地盤特性を考慮した構造計画に関する技術的所見				<p>Ⅲ： 非常に優れた内容の構造計画である。 3点</p> <p>Ⅱ： 標準的な構造計画よりも優れた計画である。 1点</p> <p>Ⅰ： 標準的な構造計画である。 0点</p>	3点
		<p>(1) 液状化が懸念される地層に対する基礎等の安全性確保</p> <p>(2) 工学的基盤の傾斜に対する基礎等の安全性確保</p> <p>(3) 長周期成分を考慮したサイト波の作成方針</p>			<p>有意な検討項目</p> <p>① 液状化判定において、有効応力度解析などの特別な詳細検討による影響把握と対策を行っている。</p> <p>② 液状化が生じても十分な基礎剛性、強度が確保できる計画である。</p> <p>③ 基礎の長さや断面形状の違いにより生じる基礎のねじれ等について、適切かつ安全側に考慮されている。</p> <p>④ 地盤の状態をより正確に把握し、基礎の計画や応答解析の精度を高めるために有効な追加調査を計画している。</p> <p>⑤ 地盤、基礎、上部構造の実況を適切に反映した一体的なモデルで解析するなど、検討プロセスの信頼度が高い。</p> <p>⑥ 傾斜した支持地盤への杭の根入れなど目視確認が難しい部分について、構造耐力確保を確実にする計画がある。</p> <p>⑦ 施工期間や近隣への騒音・振動等の抑制について、一般的な施工と比較して明らかに優位な提案がある。</p> <p>⑧ サイト波の作成に関して、長周期成分の合成方法、解析手法、増幅等が適切かつ安全側に考慮されている。</p> <p>⑨ その他、重視すべき提案がある。</p>		

II. 環境技術提案 「効果的で先進的な環境技術についての提案」

技術資料の記入方法と評価基準

青字：公開 黒字：非公開

分類	評価項目	具体的評価項目	様式	記入方法及び提案の要点	添付資料	評価基準	配点	
	効果的で先進的な環境技術についての提案	1 エネルギーサービスプロバイダー（以下：ESP）導入検討に関する技術的所見	3号	環境・省エネルギー技術に係る課題について、その対策及び技術的所見を記入してください。 環境・省エネルギー技術の3つの課題を合わせて、指定の様式（A3片面）1枚とします。	・添付資料1（別表1参照）	III： 非常に優れた内容の提案である。 3点 II： 標準的な提案よりも優れた提案である。 1点 I： 標準的な提案である。 0点	3点	
		(1) ESP事業者選定に関する業務支援 (2) 横浜アイランドタワーとの連携を考慮した課題と対応 (3) 基本設計におけるライフサイクルコストや環境性能を考慮した熱源構成などの検討	1 ESPの導入における、技術的課題、本施設として具備すべき条件などを提示し、かつ熱源設備がどうあるべきかについての所見を提示してください。 2 自然エネルギーを有効に利用することにより省エネルギー化を実現しつつ、快適な室環境を確保するための具体的な提案を提示してください。		有意な検討項目 ① ESP事業者の公募にあたり、各事業者が競争性のある提案を提出できるような条件の具体例をあげている。 ② ESP事業者公募後の協力体制についての具体的な記述があり、協力姿勢が感じられる。 ③ 横浜アイランドタワーとの接続上の制約、切替方法、切替時期などの、課題抽出と検討がされている。 ④ 常時の安定した熱供給、災害時での運用想定など、エネルギー供給の信頼性に対する検討がされている。 ⑤ 維持管理性、機器更新方法など実運用を想定した提案がされている。 ⑥ 蓄熱槽ピット、縦型蓄熱槽、大規模CGSの設置など、幅広いESP事業者の提案が受けられる本工事側の検討がされている。 ⑦ 熱源構成が具体的に想定されていて、省エネルギー、低ランニングコスト、低インシヤルコストの観点から検討がされている。 ⑧ 熱源構成などの検討において、低炭素化などの環境負荷低減に特に配慮した検討がされている。 ⑨ ESP事業者の設備と市庁舎を合わせた統合管理、把握が可能なシステムが検討されている。 ⑩ その他、重視すべき提案がある。	III： 非常に優れた内容の提案である。 4点 II： 標準的な提案よりも優れた提案である。 2点 I： 標準的な提案である。 0点		4点
		2 低炭素型の市庁舎と、快適な室環境の両立に関する提案	3 総合的な省エネルギー技術について提示してください。 (1) 自然エネルギーの利用による創エネルギー技術などを提示してください。 (2) 自然エネルギーの有効利用に限らない、多様な省エネルギー技術を提示してください。 (3) 導入した環境技術によって得られる省エネルギーの具体的な効果を、BEI値を提示してください。 (発注仕様書中の【別紙7 ESP計画条件】に与える与条件をもとに建物のBEI値を各エネルギー別に計算し提示してください。)		有意な検討項目 ① 建築、空調、電気設備単体の提案ではなく、デザインビルド一括発注の利点を生かした、複合的な提案がされている。 ② 外気、外光の取り入れなどに関して執務環境向上のための具体的な技術が提案されている。 ③ 外気、外光以外の自然エネルギーの有効利用について具体的な提案がされている。 ④ 自然エネルギーの導入について、天候の急変への対応など、実運用を考慮した提案がされている。 ⑤ PMV（温熱指標）などの体感、感覚的な指標を考慮した制御システムが提案されている。 ⑥ 利用者の個別の要望に柔軟に対応できるシステムとなっている。 ⑦ 空調、照明などで、快適性を犠牲にせずに低炭素化、省エネルギー化を自動でおこなう制御システムなどの提案がある。 ⑧ 自然エネルギーの活用について、より利用意欲を増進する啓発的な表示、制御などの工夫がされている。 ⑨ 自然エネルギーを活用した機能が継続的に発揮されるための、有効な維持管理などに関する提案がされている。 ⑩ その他、重視すべき提案がある。	III： 非常に優れた内容の提案である。 3点 II： 標準的な提案よりも優れた提案である。 1点 I： 標準的な提案である。 0点		
(1) 室環境への自然エネルギーの有効利用と快適制御			有意な検討項目 ① 建築、空調、電気設備単体の提案ではなく、デザインビルド一括発注の利点を生かした、複合的な提案がされている。 ② 具体的な導入事例などが示されていて、実現性が高く、具体的な省エネルギー効果を確認できる提案がされている。 ③ シミュレーション手法等を活用した年間負荷予測などに基づく空調システムの提案がされている。 ④ 季節、時間帯などによる負荷変動への追従について、課題を把握したうえで、優れた有効な対策が示されている。 ⑤ 低炭素型市庁舎にふさわしい先進的な技術の提案があり、十分先進的であると判断できる。 ⑥ 職員がデマンドレスポンスに積極的に参加、対応できるシステムなど、全庁を挙げた取組みの提案がされている。 ⑦ 無駄な空調の運転、照明の点灯を防ぐ設備やシステムについて、工夫された提案がされている。 ⑧ 太陽光発電以外の再生可能エネルギーを利用した発電などについて提案がされている。 ⑨ 創エネルギーについて最大限性能を発揮させるための手法が優れており、また、その性能が維持されるための提案がされている。 ⑩ その他、重視すべき提案がある。	III： 非常に優れた内容の提案である。 3点 II： 標準的な提案よりも優れた提案である。 2点 I： 標準的な提案である。 1点				
3 創エネルギー、省エネルギー技術に関する提案	(1) 低炭素型市庁舎を考慮した創エネルギー技術と最大限性能を発揮するための技術及び省エネルギー技術 (2) 創エネルギー・省エネルギー技術の導入による具体的な省エネルギー効果		・以下の基準で配点する。 BEI < 0.5 3点 0.5 ≤ BEI < 0.6 2点 0.6 ≤ BEI < 0.7 1点		6点			

Ⅲ. 低層部の総合技術提案 「低層部分（1階から3階）における建築・構造・設備の高度技術と建築デザインに関する総合的な提案」

技術資料の記入方法と評価基準

青字：公開 黒字：非公開

分類	評価項目	具体的評価項目	様式	記入方法及び提案の要点	添付資料	評価基準	配点
	低層部分（1階から3階）における建築・構造・設備の高度技術と建築デザインに関する総合的な提案	1 低層部及び屋根付き広場（アトリウム）のフレキシブルで多様な使い方に対応する構造架構及び環境・設備に関する提案 (1) 大空間を形成する屋根付き広場（アトリウム）の構造架構及び外装計画 (2) 緑化を含む自然環境の取込みとビル風にも配慮した快適制御技術や音響・照明計画 (3) 外壁の防汚・日常清掃対策や維持管理計画とコスト低減	4号	指定された建築計画に係る課題について、その対策及び技術的提案を記入してください。 指定の様式(A3 片面) 1枚とします。 1 低層部や賑わい拠点としての大空間である屋根付き広場について、よりその役割を果たすための高度な技術の提案を求めます。 また、自然素材の採用を含めた自然の積極的な取込み、コストも含めた維持管理に対する考え方の提案なども求めます。 2 市民の日常的な憩いの場や、イベントの舞台として低層部のパブリックスペースが横浜市を象徴する様な賑わいの場所として機能することを求めます。 そのために屋根付き広場の使い方に対する考察、柔軟性のある設えや、周辺環境も含めた低層部全体の連続性、回遊性の確保が重要です。 また旧第一銀行横浜支店や古い護岸の歴史性との関係を考慮しながら、総合的な高度技術が外観に表出され質の高い景観の形成と、夜の照明効果による賑わいの創出などにも配慮された提案を求めます。	・添付資料1 (別表1参照)	Ⅲ： 非常に優れた内容の提案である。 5点 Ⅱ： 標準的な提案よりも優れた提案である。 2点 Ⅰ： 標準的な提案である。 0点	5点
		2 横浜市の市庁舎にふさわしいデザインに関する提案 (1) 本市の基本構想などやデザインコンセプトブックを踏まえた低層部のデザイン計画 (2) 屋根付き広場（アトリウム）のフレキシブルで多様な使い方に見合った空間構成及びデザイン計画	・添付資料1 (別表1参照) ・屋根付き広場の内観パース1カット (A3: 1枚) ・ビューポイント（北仲橋）からの近景外観パース2カット (夜景含む) (A3: 1枚)	Ⅲ： 非常に優れた内容の提案である。 5点 Ⅱ： 標準的な提案よりも優れた提案である。 2点 Ⅰ： 標準的な提案である。 0点	5点		

IV. 高層部の総合技術提案 「高層部分における建築・構造・設備の要素と外観デザインの総合的な技術に関する提案」

技術資料の記入方法と評価基準

青字：公開 黒字：非公開

分類	評価項目	具体的評価項目	様式	記入方法及び提案の要点	添付資料	評価基準	配点
	高層部分における建築・構造・設備の要素と外観デザインの総合的な技術に関する提案	1 超高層建物の外壁構成要素に関する提案 (1) 日射負荷抑制や自然採光、自然換気の活用など環境技術を取り入れた外壁構成要素 (2) 防水性、気密性、水密性、耐久性、断熱性を考慮した外壁構成要素 (3) 外壁の防汚・清掃対策や維持管理計画とコスト低減	5号	左記に関して、その対策及び技術的所見を記入してください。指定の様式(A3片面)1枚とします。 1 超高層建物の外壁に必要とされる性能をより高度で、かつ高さに応じた適切な技術で確保しながら、その上で更に先進性のある環境技術や構造技術(外壁に関連性がある場合)を積極的に取り込んだ提案を期待します。 また、建物の長寿命化、維持管理に配慮した材料、構法の提案を求めます。 2 外壁の構成要素に関する技術、新しい環境技術が総合技術として高度に統合され、品位と美しさを兼ねた外観デザインとして表現されることを期待します。 また、北仲通地区の超高層建築物として中景、遠景の景観形成に対する考察を求めます。	・添付資料1 (別表1参照) ・ビューポイント(横浜みなと博物館付近)からの外観パース1カット(A3:1枚) その他外観パース2カット(A3:2枚)	Ⅲ： 非常に優れた内容の提案である。 5点 Ⅱ： 標準的な提案よりも優れた提案である。 2点 Ⅰ： 標準的な提案である。 0点	5点
		2 外壁構成要素が融合した高層部デザインに関する提案 (1) 横浜市庁舎としての品位と美しさを兼ね備えた質の高い高層部デザイン (2) 中景として近接建物との関係及び遠景として北仲通北地区で予定されている超高層建築群を考慮した群景観計画に関する配慮		Ⅲ： 非常に優れた内容の提案である。 5点 Ⅱ： 標準的な提案よりも優れた提案である。 2点 Ⅰ： 標準的な提案である。 0点	5点		

V. 施工計画、設計・施工体制、地域貢献 「設計・施工のプロセス、体制と地域経済・文化への貢献等についての提案」

技術資料の記入方法と評価基準

青字：公開 黒字：非公開

評価項目	具体的評価項目	様式	記入方法及び提案の要点	添付資料	評価基準	配点
設計・施工のプロセス、体制と地域経済・文化への貢献等についての提案	1 全体実施計画に関する技術的所見 (1) 基本理念及び整備基本方針を踏まえたプロジェクト遂行の為の目標設定と管理 (2) 設計・施工各段階の工程計画検討における課題及び遅延防止に向けた取組み (3) 別途発注となる工事の設計工程管理における配慮事項と工事発注及び施工管理支援	6号 -1 6号 -2	指定された課題について、その対策及び技術的所見を記入してください。 指定の様式(A3片面)2枚とします。	・添付資料1 建築概要、図面等 (別紙1参照) ・添付資料3 全体工程表 (別紙1参照)	Ⅲ： 標準的な計画よりも特に優れた計画である。 4点 Ⅱ： 標準的な計画よりも優れた計画である。 2点 Ⅰ： 標準的な計画である。 0点 有意な検討項目 ① 基本理念及び整備基本方針を踏まえたプロジェクト遂行の為の目標設定に関する提案がされている。 ② DR・庁内意見聴取等、設定した目標を実現するための管理に関する提案がされている。 ③ 生産・調達と連動した設計・施工等、工期遵守の為の生産・調達を含めた工程に関する提案がされている。 ④ 先行発注等、設計・施工一括方式について懸念される課題に配慮した提案がされている。 ⑤ 工程に無理がなく、適切に必要な期間を確保しながら効率的な工程計画が提案されている。 ⑥ 別途工事の発注時期に合わせた設計工程や発注資料作成支援に配慮した提案がされている。 ⑦ 工事の統括管理等、別途発注となる工事の支援に関する提案がされている。 ⑧ その他、重視すべき提案がある。	4点
	2 設計・施工体制及び取組みに関する技術的所見 (1) 設計・施工各段階における課題と専門業者を含めた設計・施工体制の考え (2) 市民に永く親しまれる市庁舎とするための設計体制及び取組み (3) 施工段階における低炭素化に関する取組み	2	設計・施工体制に関する提案については、デザイン監修者や、専門性のある人員の配置・役割を明確にし、景観アドバイザーや、都市美対策審議会の意見を確実に汲み取り、運営も含め永く親しまれ、利用者が楽しめる施設とするために、どの様に意見を抽出し、設計に反映するかについての提案も求めます。また、所見と併せて体制表を記載してください。	Ⅲ： 標準的な計画よりも特に優れた計画である。 4点 Ⅱ： 標準的な計画よりも優れた計画である。 2点 Ⅰ： 標準的な計画である。 0点 有意な検討項目 ① 設計段階からの施工者の参加等、高い施工技術を適切に設計に反映する体制・プロセスに関する提案がされている。 ② 要求水準の確認や技術提案の確認等、設計内容の施工への確実な反映と高い品質を確保する体制・取組姿勢に関する提案がされている。 ③ 専門家の登用等、高い品質と質の高いデザインを確実に具現化するに相応しい体制・プロセスに関する提案がされている。 ④ プロジェクトの特性を理解し、市内企業を協力会社とするなどの具体的な配慮が施工体制表で提案されている。 ⑤ 設計初期段階から庁内や議会、都市美対策審議会景観部会等と円滑な協議を行い、意見を正確に確認し、設計に反映する体制・取組姿勢に関する提案がされている。 ⑥ 梱包材の簡素化やリサイクル等、ゼロエミッションに向けた取組姿勢に関する提案がされている。 ⑦ CO2排出抑制重機の利用等、施工時のCO2排出に配慮した施工計画に関する提案がされている。 ⑧ 現場事務所の仮囲いを利用した太陽光発電や仮設照明のLED化等、低炭素化に配慮した仮設計画に関する提案がされている。 ⑨ その他、重視すべき提案がある。	4点	
	3 地域貢献及び環境配慮に関する技術的所見 (1) 地域の文化的活動及び地域経済貢献に関する取組み (2) 現場周辺の環境保全や景観配慮に関する取組み (3) 設計・施工各段階における市庁舎プロジェクトの関心向上と建築文化の向上	3	地域貢献に関しては、地域の特性を考慮しながら、特徴ある文化的活動、地域経済の活性化に有効な施策を求めます。また施工期間中を通して、周辺の環境や景観に配慮し、建設現場のイメージアップと市民と一緒に造る環境の創造に対する取組みの姿勢なども提示してください。	Ⅲ： 標準的な計画よりも特に優れた計画である。 4点 Ⅱ： 標準的な計画よりも優れた計画である。 2点 Ⅰ： 標準的な計画である。 0点 有意な検討項目 ① 地域社会や文化的活動への参加に関する提案がされている。 ② 地域経済の活性化につながる具体的な提案がされている。 ③ 市内企業への多様な発注が具体的に提案されている。 ④ 周辺地域の清掃や住環境の保全に対する積極的取組に関する提案がされている。 ⑤ 仮囲いの景観配慮等、周辺地域と現場事務所・作業現場との景観調和の取組に関する提案がされている。 ⑥ 定期的な工事広報や現場見学などによる地域とのコミュニケーション促進に関する提案がされている。 ⑦ 市民の工事への参加等、建設を通して様々な取組みを共有し、市民と一緒に作る取組姿勢に関する提案がされている。 ⑧ 建築の担い手不足を鑑み、ものづくりの本質的な楽しさを共有し、建築文化の継承に向けた提案がされている。 ⑨ その他、重視すべき提案がある。	4点	